

# 贅<sup>ぜいたく</sup>沢<sup>たく</sup>すぎるポスター、宣伝カーへの 選挙費用助成は見直しを!

黒須 俊隆 議員



問 選挙費用助成条例ができてから、2回の助成対象選挙が行われました。過去2回の選挙でポスター代、宣伝カー代、運転手代、燃料代の最大値、最小値、総額、平均値をお答えください。

総務課長 市長選、市議選を通じまして、ポスター代の助成額でございますが、最大値は限度額と同額の37万2,324円でございます。最小値は15万8,700円です。総額につきましては、23件で706万6,152円、平均値につきましては、30万7,224円であります。

選挙運動用車両借り上げ代につきましては、ましては、助成額の最大値は限度額と同額の10万7,100円でございます。最小値は3万5,000円、総額は18件、169万6,100円、その平均値は9万4,228円でありました。

運転手代につきましては、助成額の最大値、最小値、平均値ともに限度額と同額で、8万7,500円、総額は15件、131万2,500円でございます。

燃料代の助成額の最大値ですが、4万5,360円、最小値は4,985円、総額は17件で28万6,330円、平均値が1万6,843円でございます。

問 今回、私は実際の候補者の方から聞き取り調査をいたしました。二人の候補者が同じ選挙用品専門会社でポスターを印刷していました。ポスター代150枚の印刷代が約36万円だったそうです。ところが、この二人の方のうち。一方はデータ入稿で36万円。もう一方の方は撮影、デザイン料、版下作成費まで含めて36万円。全くアバウトな値段設定です。公費負担額を基準に公費負担額が約37万円だから、少し安くして36万円

というような大変いい加減な値段設定、公費負担額を基準に設定したデ

タラメな印刷代だった疑念が浮かびます。

別の印刷会社の値段も調べてみました。あるインターネット印刷会社では、防水紙のユポ紙で200枚印刷して1万9,900円、これはデータ作成は別です。また、シールつきのユポタック紙、これもデータ作成は別で印刷のみで3万700円でした。

先ほどの課長のお答えだと、最大は上限の37万2,324円だと。一方で、1万9,900円できるという会社もあるということです。

宣伝カーについても、4,900円の方がいれば4万5,000円の方もいると。これは4年前の実際のことときは公費負担がなかったわけですが、公費負担がないから当然、本人の自費、もしくは寄附金等で払ったわけですが、それと比べて大幅にポスター代とか宣伝カー代が高くなっているのではないかと。これは大変な無駄遣いではないですか。本来の趣旨は低所得者でも立候補できるように、そのために助成があるんだと、そういう説明があったと思いますが、低所得者も立候補できるという観点で言えば、2万円でも3万円でもいいわけです。にもかかわらず、実際は平均30万円ものポスターをつくっている。これはより贅沢な選挙をするための公費負担となっているではありませんか。

新たに制度設計をやり直して、条例を修正することを提案いたします。